



さとやま 2021年 秋号 (通巻156号)

■発行 特定非営利活動法人うしく里山の会
〒300-1212 茨城県牛久市結束町489-1
tel 029-873-8552 fax029-873-8552

■事務局 牛久自然観察の森内
tel 029-874-6600 fax029-874-6812
<http://ushiku-satoyama.org/>
■編集 木谷昌史

さとやま ~秋号~ No.156

特定非営利活動法人うしく里山の会 広報誌

1. 表紙 (ササキリ)
2. お知らせ
3. プロジェクト活動報告
4. 裏表紙 (シラヤマギク)

事務局からのお知らせ

ウナギの放流会参加報告

令和3年9月25日（土）毎年牛久観光アヤマ園で開催しているウナギの放流会に参加し、牛久沼漁業組合の皆様の協力元、牛久市役所環境政策課、牛久ロータリークラブ、皆様とともにウナギを放流してきました。通常の年であれば地元の小学生達に声をかけ子供達と放流するのですが、コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は一般募集は行われず関係者で厳かに放流会が行われました。



結束町みどりの保全区 「エコアップ」作戦参加者募集のお知らせ

牛久自然観察の森に隣接する牛久市結束町の「みどりの保全区」で行っている森林維持管理作業「エコアップ作戦」では、地域の皆さんの協力のもと、下草刈りや除間伐、風倒木の処理等を行っています。この夏から秋は新型コロナウイルス第5波の影響で中止の回がありましたが、一旦収束したこともあり10月から活動を再開しています。

冬の活動は、第6波の影響も心配されますので状況をみながら活動できる範囲ですすめていきたいと思っています。12～2月は下記の通り4回の実施を予定しております。雑木林の景観維持へのご協力を是非お願いいたします。

活動日：12月14日（火）、1月25日（火）、2月8日（火）、22日（火）

時間：9時～11時

集合場所：ネイチャーセンター 横の倉庫前

参加希望の方は：活動日の1週間前までに事務局までご連絡ください。

プロジェクト活動報告

牛久自然観察の森指定管理者

「牛久市立神谷小学校ガイド」報告

丸山 淳子

10月7日に神谷小学校1年生2クラスが生活科の授業で訪れガイドを行いました。

まずはネイチャーセンターの生態展示を案内しました。ナマズ、イシガメ、ウナギ、アズマヒキガエルなど普段あまり目にしない生き物が人気だったようです。次はメインのバツタの原でバツタの観察です。今回の授業のテーマが「秋の虫となかよし」だったのでバツタと触れ合うことをメインに置きました。

私が担当したクラスでは4割くらいがバツタをつかまえたことがないとのこと。最初は「怖い」「どう触ったらいいかわからない」と不安な声をあげていましたが、次々と友達が捕まえる様子を見て、自分も捕まえてみたいと気持ちが膨らみ、何度も挑戦する子どもたちがたくさんいました。何度も捕まえてみようとしてみましたが、本人は触らず自分で捕まえて欲しいと言い、とうとう捕まえることができたときはその子の手と声がうれしさのあまり震えていて私は感動してしまいました。オンブバツタは実は上に乗っているのは子どもではなくオスで下にいるのがメスであることや、シヨウリョウバツタが緑色と褐色がいることも解説しましたが自分たちで捕まえて観察したからこそ深く理解できるのだと感じました。

今後も地域の教育機関と連携し、生き物と触れ合いや興味を持ってもらう活動を展開していきたいと思っております。



バツタの原での活動の様子

雑木林応援隊

森！久しぶり、気持ちいいですネ

飯田 雅俊

10月3日、今日は2ヶ月ぶりの活動日、年度初めにも活動の中止があった。市民の皆さんと行う炭焼き、草木染講座も実施できなかった。

さてと、まずは伸びた雑草から、春の芽吹き時には女性陣から〇〇が咲いていると申し出がありマーキングして残したり、畑に移植したり。今までに会ったことのない草花らしい。もし、このコロナ禍でなかったら咲くことができなかつたかも。

梅の実から育て梅林に移植した幼木の救出を行った。梅は人にとって観賞・食用と有益だから。以前読んだ何かに、植物ではなく世界の哺乳類の数のことが書かれていた、人間と家畜で9割以上、ヒト76億人、ウシ、ヒツジ etc、これに比べ野生動物はゾウ〇十万頭、チンパンジー etc、桁が違います。ヒトが自然を牧草地や田畑に改変し、都合の良い生物だけを増やしてきた結果、生きる場所を奪われた野生生物から未知のウイルスが家畜に飛び移り、それがヒトに感染するのは当然の帰結のように思える、とあった。コウモリから世界で一人勝ちしている生物ヒトに宿主に変えようとする戦略は正しい、既にヒトに寄生している菌がいる、ウイルスとの違いはあるが、熱が出ない、味覚も変わらない等の戦術の見直しが必要。できれば大繁栄であらう。

森にきてコロナ禍であってもこんな事を思っていたりすると、ワクチン予約でPC、電話の前で幾日もイライラしていたこと、3回目はどうなるのか心配していることが、会えなかった植物に会えたり、季節のごとに変化を見たり感じたりでき森は楽しい。



梅の幼木（牛久自然観察の森 梅林）



ツリフネソウ、キツリフネの群落の様子



明るい黄色の花が印象的な
オミナエシ



ノハラアザミ、開花と結実が
両方見られた



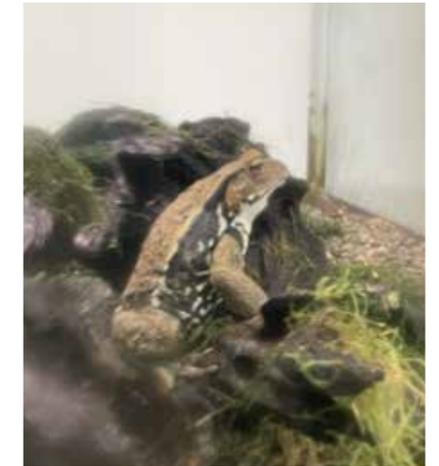
ひつつき虫として存在感を示
すコセンダングサ



枝で休むアマガエル



産卵の場所を探してやってきた
コカマキリ



アズマヒキガエル
ネイチャーセンター内で生態展示中



ケヤキ、コブシの紅葉



ヒヨドリバナの種
風が吹くたびに飛んでいく



林床に咲いていたイヌタデ
鮮やかな赤色が目を引く



品のある淡紫色の花をつけるカン
トウヨメナ



林にたたずむ畑でみられたモンシ
ロチョウの幼虫。サナギの準備に
入っている様子



保全区で活動するエコアップのメ
ンバー（結束町 保全区内）